

なぜ？

カラシニコフを担いでスマホを手を持つ、その髭面のきみ！
ほら、君だよ！

砂嵐に頬をたたかれたことはないのか？

小川のせせらぎやカレーズの流れを聞いたことはないのか？

ポプラの葉の風のそよぎを聞いたことはないのか？

羊や鳥たちの鳴きかわしを聴いたことはないのか？

土に食い込むクワの衝撃を感じたことはないの？

山が荒れた日、吹きすさぶ風に飛ばされたことはないのか？

雪に埋もれた斜面を滑り降りる足元の軋みを聞いたことはないの
か？

大雨の夜、大地をたたきつける雨粒に濡れたことはないのか？

それらは全部自然の声、君との会話。

それらを全部、君は、受けとめてきたはず。

君は自然の声を受け入れ共に生きる知恵を持っている。

なのになぜ、ひとの悲鳴や嘆きや叫びを聞けない？

なぜ銃弾で従わせようとするのだ？

君やひとだけが持つ言葉。

銃弾よりもスマホよりも顔つきあわせて話そうよ。

なぜ人前に顔を見せないあの人の声だけを聞くの？

なぜ？